

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	キャリア開発Ⅱ-1 (Career DevelopmentⅡ-1) 2010021-003					担当教員	広田 秀樹 (ヒロタ ヒデキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	2年次	開講期	前期
科目特性	学生参加型 AL								

① 授業のねらい・概要									
企業等の組織、個人が激しく競争する社会で、逞しく活躍し続けるための、基本的な姿勢、考え方、ルール、作法、知識、視野。思考力等を身に付けることを目標にする。具体的には、産業社会を構成する多様な業界、企業について学習し、社会の組織で求められる多数の基本事項について学ぶ。授業内容は基礎レベルである。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力を育成する授業。									
③ 授業の進め方・指示事項									
基本的な知識、情報を紹介しながら、変化の激しい社会の各現場で実際に働く方をゲストスピーカーとして招聘するので、各自の人生のデザインを考え参加すること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
キャンパスライフ入門・キャリア開発Ⅰ									
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 経済社会の基本構造が理解できる。									
(ii) 経済社会で生きるための基本事項が理解できる。									
(iii) 各自が自分に合ったキャリアデザイン・ライフデザインを描くことができるようになる。									
⑥ テキスト（教科書）									
学習資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
大久保幸夫（2016）『キャリアデザイン入門<1>基礎編』日本経済新聞社									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 経済社会の基本構造の理解	経済社会の基本構造に関して資料等に頼らず説明でき、授業内容を超える学修成果を示している。	経済社会の基本構造に関して資料等に頼らず説明できる。	経済社会の基本構造に関して資料等を参照して説明できる。	経済社会の基本構造に関して資料等を参照し、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	経済社会の基本構造に関して資料等を参照しても教員等の支援を受けても説明できない。
(ii) 経済社会で生きるための基本事項の理解	経済社会で生きるための基本事項に関して資料等に頼らず説明でき、その体得に向けた実践への意欲がある。	経済社会で生きるための基本事項に関して資料等に頼らず説明できる。	経済社会で生きるための基本事項に関して資料等を参照して説明できる。	経済社会で生きるための基本事項に関して資料等を参照し、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	経済社会で生きるための基本事項に関して資料等を参照しても教員等の支援を受けても説明できない。
(iii) キャリアデザイン・ライフデザイン構築の能力	キャリアデザイン・ライフデザイン構築に関して資料等に頼らず説明でき、構築の能力向上に向けた実践への意欲がある。	キャリアデザイン・ライフデザイン構築に関して資料等に頼らず説明できる。	キャリアデザイン・ライフデザイン構築に関して資料等を参照して説明できる。	キャリアデザイン・ライフデザイン構築に関して資料等を参照し、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	キャリアデザイン・ライフデザイン構築に関して資料等を参照しても教員等の支援を受けても説明できない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%			30%		25%		100%
(i) 経済社会の基本構造の理解	20%			10%		10%		40%
(ii) 経済社会で生きるための基本事項の理解	20%			10%		10%		40%
(iii) キャリアデザイン・ライフデザイン構築の能力	5%			10%		5%		20%
フィードバックの方法	レポートについてはコメントを行い討論のベースとして紹介する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
経済社会、そこで競争する組織の現状を紹介しながら、そこで生き抜き活躍するために必要な重要事項を身に付けてもらうような、授業を志向する。	

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	イントロダクション・キャリアとは何か	各自の個性とライフデザインを考えるレポート	90分
2	人生におけるキャリアの重要性	各自の個性とキャリアデザインを考えるレポート	90分
3	経済・産業・企業	学校と社会の違いを考えるレポート	120分
4	企業等の組織の基本構造	組織と個人の間を関係を考えるレポート	120分
5	業界研究・企業研究の重要性	各自の個性と業界研究に関するレポート	120分
6	流通業	各自の個性から流通業の勤務を考えてみるレポート	90分
7	製造業	各自の個性から製造業の勤務を考えてみるレポート	90分
8	金融業	各自の個性から金融業の勤務を考えてみるレポート	90分
9	建設業	各自の個性から建設業の勤務を考えてみるレポート	90分
10	サービス業	各自の個性からサービス業の勤務を考えてみるレポート	90分
11	公共の仕事	各自の個性から公共の仕事の勤務を考えてみるレポート	90分
12	出版・印刷業	各自の個性から出版・印刷業の勤務を考えてみるレポート	90分
13	貿易業	各自の個性から貿易業の勤務を考えてみるレポート	90分
14	インターンシップについて	インターンシップに関する情報収集のレポート	90分
15	まとめ	自分に合ったライフキャリアデザインコンセプトに関するレポート	180分

⑫ アクティブラーニングについて

学生参加型 AL を採用する。講義内容をベースにして、独自に調査、考察しレポートを作成するなかで本質を見抜き、独自に提案できる思考力を伸ばす。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性